



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship Throughout the World



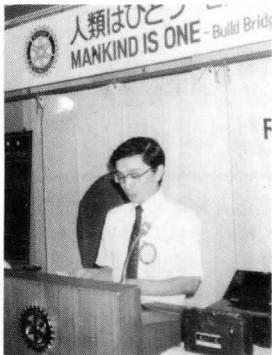
会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員70名 出席52名 出席率74.29% 前回出席率72.86% 修正出席64名 確定出席率91.43%

会員スピーチ

最近の諸情勢について思うこと

庄内証券(株)鶴岡支店長 高田耕助君



最近、明けても暮れても教科書問題のニュースで持ち切りですが、経済問題に目を転じると米国の高金利政策・ドル高・円安・日米貿易摩擦・日立産業スパイ事件・国際収支不均衡・インフレ・失業・スタグフレーション・世界経済全体成長鈍化・保護貿易主義化・財政再建・行財政改革等困難な重要な問題が山積みしている。何に起因するのであろうか。

丁度子供の本の中に昔話の桃太郎を見つけたので、比喻して考えてみると、桃太郎が鬼退治に出掛ける時、犬も猿も雉も家来になる時「桃太郎さん桃太郎さんどこへ行くのですか。御腰に付けた袋の中は何ですか。一つ下さいきびだんご」と言って各々納得して大変美味しい日本一のきびだんごを戴いて、一致して鬼退治と云う目的に向うことができたのが成長経済時代の労使関係であり、きびだんごがなくなってしまうなどは夢にも考えなかったのが石油ショックに出合って始めて資源は有限であり、経済成長にも限度がある事を知らされた。きびだんご、すなわち経済自体のパイが小さくなった為、各国の経済が有機的に働かなくなった。特にレーガン大統領の目指す強いアメリカ・強いドル政策によって今迄垂れ流されていたドルインフレの元凶が高金利政策によって、米国へ急速に還流し始めた為、ヨーロッパ、日本の経済政策の巾が狭くなって不景気・失業の増大の一つになった。非産油発展途上国、東欧諸国の対外債務が恐ろしい位激増し、顕著な例として日本も対外債権のあるメキシコの経済の悪化に伴う同通貨ペリの暴落で三千キロ以上に亘る米・メキシコ国境沿いの都市が大混乱に陥っている。嘘のように安くなったガソリン(メキシコ1ガロン33セント、米国1ドル30セント)や食料品を買いあさる一方、メキシコが米国のショッピングを諦め、米国側の商店の売り上げが激減した。この為石油ショック当時の日本トイレットペーパー買い占め状態、買い出しパニックが起った。このように世界は狭くなり、どんな事が起きても不思議ではない現状である。しか

し漸く19日米下院で増税法案(3ヶ年983億ドル)が可決。カフマン氏の金利見通し修正に勢いを得て金利が急速に低下、第4次米国の公定歩合の引下げが期待され、ニューヨーク株も市場最高の高い連日の暴騰となり、ドル高・円安もドル安・円高に転じて来た。鶴岡経済圏も変転きわまりない諸情勢ですが、不景気の最中、日常仕事に御苦勞煩張っていらっしゃるわけですが、現在の情勢を踏まえてすべての面で体質改善をして次の飛躍が出来る様対処して行く事が大切だと考えます。

最後に、1929年のような恐慌は皆んな起きるわけがないと思っている。起きないとタカをくくっている時がむしろ怖い。ないかもしれない。しかしあるかもしれない。私はきっと未来は人間の英知によって解決出来ると信じる。期待したい。

この機会を与えて下さったプログラム委員長庄司さん並びに未熟な私の話しを最後迄お聞き下さった出席者の皆様に深く感謝致します。

会長報告

副会長 川村徳男君

- 本日は中江会長が出張中で、私が臨時に会長代理を務めさせていただきます。不馴れのところは友情に免じてお許し下さい。
- 佐藤衛君にポール・ハリス・フェロー記念品が参っておりますので伝達致します。どうもありがとうございました。
- 地区年次大会まであと40日位になりましたが、会員及び奥様の出欠予定を出して頂くように文書を差し上げました。出来れば本日例会終了まで提出して下さい。本日できない人はできるだけ早く事務局まで提出されるようお願いいたします。
- 庄内地区母子福祉のつどい実行委員から、「おとうさんと遊ぼう」(母子福祉のつどい)の開催について参加依頼の文書がきております。いこいの村庄内で9月5日の予定ですが、当日I.G.F.が有って会長も社会奉仕委員長も参加できませんのでどなたか有志の方が参加して頂ければ有難いと致します。
- 米山記念奨学会から、56年度の寄附金明細表がきておりますので、回覧します。
- 地区年次大会に、台中港区ロータリークラブから8組の会員ご夫婦と1人の会員、合わせて17名の会員と奥様がおいでになるという連絡がありましたのでご報告致します。
- 活動計画書と活動報告書ができて、お手許に渡っておりますのでご覧下さい。

庄内空港の建設を推進しましょう

幹事報告

佐藤元伸君

- 米沢R.C. 米沢西R.C. 台中港区R.C.から会報が到着しています。
- 国際扶輪社第345・346地区扶輪季刊委員会発行の“扶輪”が到着しています。
- 酒田R.C. 酒田東R.C.から活動計画書、報告書が到着しています。
- 9月5日(日)遊佐町中央公民館で開かれるI.G.F.参加者の配車表をおくばりします。当日11時集合で出発します。

親睦活動委員会

迎田稔君

- 地区幹事の小松広穂君が健康診断の結果、異常なしという判定が出たので、スマイルをいただきました。

地区協議会記録の報告

小池繁治君

- 去る6月19・20日天童市文化会館で開かれた地区

協議会の記録が(鶴岡R.C.担当)出来上りました。部数が少ないので記録にたずさわった方、出席された方のほか、関心のある方も適宜お読み下さい。

地区大会関係

地区大会幹事 佐藤忠君

- 10月1・2・3日の地区大会の出欠を求めているが、会員の皆さん、ご夫人も含め全員登録でお願いしたい。晩餐会にも出席し大会を盛り上げていただきたい。準備の都合もあり早目に提出願います。

地区大会観光交通部会長 三井健君

- 交通観光部会を9月4日(土)午後6時から委員会室で開きます。試食会も兼ねておりますので、関係者はぜひご出席下さい。

ピジター

- 鶴岡西R.C. 鈴木昭吾君、足達一見君、村上彬君、菅原年雄君、八幡慶二君
- 温海R.C. 斎藤新作君

職場紹介

張紹淵君



会報の委員長からの要求で、460字詰の原稿用紙3枚渡されて自分の職場を紹介・広報をして、1,500円のスマイリングをするように協力願いがありましたので、断わることも出来なく考えた上紹介することにした。その理由は、鶴岡医師会で

は自分の医院の広報をお互いにやってはならない。御遠慮下さいとのことでありますからです。病院では、殊に官公立病院はそんなことがないようです。そういう訳で、皆様が病気になるれたり、精検されたりするにはどうした方がよいかをお考えになって最善の理想的な治療法をお選びした方がよいと思っております。現在の私が見た日本の医療をお知らせ致します。日本の医療は世界第二次大戦前は独乙国流の医学でありましたが、終戦後の現在は全くアメリカン医学流になりました。その医療の設備と医療の内容の段階によって分けてみますと、第一次元、第二次元、第三次元、第四次元に大別出来ますが、日本では最高が第三次元(大学病院並み)でとどまっております。アメリカの第四次元は日本の国民保険外の私立の世界最優秀なメーヨ・クリニックであります。アメリカと日本の医療の異なる点は、日本は政府の全国国民保険者であり、第三次元と云えども必ずしも次元と内容が一致しないところがあり、それでも今は日本も設備と臨床内容が専門化して一致してきています。アメリカの宇宙開発と異って、日本は経済面、政府の方針、学閥の人間関係があるから、医療はアポロの開発よりも遅れております。種々の

生業の力でもって、それでも大変進歩した医療医学になった現況であります。現在の私の張外科内科医院は、一般臨床患者の医療で、一次元の診療所で19床以下の入院可能と政府で定められています。

昭和45年1月14日に山形県告示第31号の厚生省令第8号の救急診療所として願われて、一般診療を終わってからも救急医療を24時間やることに指定されて、今日まで12年間続いています。鶴岡では救急医療指定されたのは私の医院1ヶ所であります。指定された当初の救急患者が年間300から5,600名でありましたが、昭和49年7月14日に市と医師会立の休日診療所が出来てからも、救急患者は多少減少して1年間300名前後であります。一次元の救急診療所と云えども、私医師は二、三次元の医療を独りでやれる実力があります。従業員は全部で12名おりますが、皆労働基準法令によって一般診療をやっており、私独り医師が入院当直と時間外の救急診療をやり続けています。日本の一次元の所謂開業医はアメリカでは第一次元の家庭医と云っておりますが、アメリカでは医師全部が第三次元の病院に密なる連絡関係が出来て、医師が自由に入り出して医療も一緒にやれますが、日本では未だにそんな事が出来ませんので患者に紹介状を持たせたりして、高い次元の病院へとお送り致します。この様にして一次元の開業医が予防医学の方面の関係者と共に、地域医療に努めておりますのが日本の現状であります。医術と医学が共に日に日に進歩して来ています。近頃の私の方の来院患者は目立って高齢者が多くなり、私も高齢になってきましたので、学会に努めて出席し、母校の日本医大・老人病研究所に基礎と臨床老人科を勉強して、自分の現在の診療所に来る患者達にも何かプラスになるような治療に努めています。実に最近設備面、技術面、精密検査面、治療面と専門的に分科してそれぞれの基準でもって医師が患者を治療するようになりましたです。

(今週の担当者 今野清一)